

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪医科大学附属病院新本館新築	階数	地上2F、地下1F
建設地	大阪府高槻市大学町	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、防火	平均居住人員	24人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2020年5月22日
敷地面積	51,940㎡	作成者	清水建設
建築面積	980㎡	確認日	2020年5月22日
延床面積	2,555㎡	確認者	清水建設

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を切り替えることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>本件は高槻市に計画された病院棟の為にエネルギー施設である。病院棟の諸設備を中央監視室から管理する他、災害時や非常時に病院棟へのエネルギー供給を行う事を目的とし、計画された。</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>換気性能に配慮し室内環境の向上に努めている。全面禁煙化も行っている。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>高い耐震性を有しており、諸設備の信頼性向上に努めている。居室には南北に窓を備えており、空間のゆとりも確保されている。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>壁面を境界線から後退させ敷地内に緑歩道を設けゆとりある空間を確保し、植栽に市木のケヤキを植えるなど周辺地域に配慮している。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>断熱性能の高い躯体構成及び建材使用による省エネルギー化に配慮した。自然換気システムの採用により自然エネルギー利用にも努めている。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>主要構造躯体への多数の材料削減対策がなされている。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>十分な駐車場、駐輪場を確保し、周辺道路への交通負荷抑制に配慮した。光害抑制もなされている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0034

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪医科大学附属病院新本館新築工事(エネルギー棟)					
	建設地	大阪府高槻市大学町					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.1	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	特になし。	